

道徳だよ

エリカ —奇跡のいのち—

【資料について】 エリカ —奇跡のいのち—

教科書p48~p54

第二次世界大戦中に起こったユダヤ人の迫害。エリカは赤ん坊のころに巻き込まれ、いつどこで生まれたのか、本当の名前すらわからない。汽車からエリカを投げた母親や家族として生活を支えてくれた女の人とはどんな思いだったのだろうか？そして、自分自身にとって命のつながりや命をつなぐということはどういうことだろうか？

自分がどこの誰かわからないとき思うことは？

感謝

育ててくれてありがとう

私は私、だから変わらない



悲しい

困惑

私は誰？

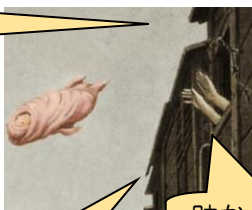
自分のことが気になる

どうすればいい？

母親や育ててくれた女の人とはどんな思いをいただろう？

私たちの分まで生きてほしい

つらい思いをさせたくない



元気で育ててほしい

助かってほしい

希望

見捨てたくない

かわいそう



大きくなってほしい

小さい命を守ってあげたい

親が守った命を大切に
してあげたい

自分にとって命のつながり、命をつなぐとはどういうこと？

- ・命は奇跡そのものだから、簡単に失わないようにする。 ・危ない行動を避ける。
- ・家族がつないでいくかけがえのないもの。 ・生きていることを当たり前と思わず、大切にする。
- ・人の役に立てるようにする。 ・人に愛情を伝える。

命と意思の連鎖